

雨と太陽

2018年8月1日

読者の皆さん

8月は、私に、ここ数日のほとんどの間シュリー・ムクターナンダ・アーシュラム上空の雲から、それ自体の重さから解き放たれて降り注ぐ雨について考えさせます。それはカーテンのように、一続きの安定した滑り落ちるような動きで降るのです。それはその日の天が蓄えている量によって、数分間あるいは数時間続きます。あなたは、この水の音に瞑想し、チャンティングし、その流れる音の重なりの中に生まれ出てくるマントラの振動を聞くことができます。

グルマーイは、しばしば私たちに、雨を祝福のしるしとして歓迎するよう教えてきました。ですから雨を見る時、私はそれをこの世界には良いことが、しかもたくさんあるのだと思い出すきっかけとしたいのです。そこには神聖さがあります。再生と新しい始まりの機会があります。音の洪水の真ただ中でも、深い平和とベルベットのよう静けさがあります。

今月は、シッダ・ヨーガの道とシッダ・ヨーガの歴史上、大きな意味を持っています。今年は大陰暦と太陽暦の両方で、8月8日はバガヴァーン・ニッテャーナンダのプンニャティティであり、1週間後の8月15日はバーバ・ムクターナンダのディヴァ・ディークシャーの記念日です。そして、8月25日の満月の日(インドと東半球の一部は8月26日)にはラクシャー・バンドンを祝います。

インドの数々の教典は、偉大な存在がその肉体を離れる時、彼らは本当に私たちの元からいなくなるわけではないと言っています。彼らは以前の姿の中にはもういないかもしれませんが、そのシャクティ、その存在、その恩恵は、私たちの環境を織り成し、それに光を与え続けます。これが、偉大な存在のプンニャティティ、彼らの命日の記念祭の間に私たちが認識し、熟考

することです。私たちは、降り続く雨を一つの比喩として見ることができるかもしれません。雨は私たちの周りを取り囲み、水は銀灰色の背景を形作ります。しかし、私たちが十分に注意して見るなら、一滴一滴の雨粒がいかに輝いているかが分かるでしょう。雨のそれぞれの一粒の中に、吉兆さと希望の魔法のような何かのヒントがあるのです。

バデ・バーバは生まれながらのシッダでした。彼はすでに悟りを得てこの惑星にやって来たのです。人という形を取った彼の存在そのものが、人類への恵みでした。彼の存在の前でいかに人々の悲しみが癒やされたかという物語は山ほどあります。人々の運命は良い方に変まりました。彼らは、改めて、あるいは、おそらく全く初めて、平和が真にどんなものであるかを理解しました。彼らは、自分自身の大いなる自己に触れたのです。

ですから、バデ・バーバが亡くなることにさえこのように広大な慈愛があったことを考えると、謙虚な気持ち——畏敬の気持ち——が起こります。それどころか、おそらくは特にその死の中にこそ、計り知れない度量の大きさがあるのです。今もそしていつも、バデ・バーバの祝福を呼び起こす能力を持つことは、最も大きな幸運なのです。

ですから、バデ・バーバのプンニャティティは、「立ち止まり、つながる」——バデ・バーバと共にいる努力をする、私たちの心の中と私たちを取り巻く世界の中で彼は誰なのかという真理を体験する——素晴らしい機会であり、きっかけとなります。私たちが、群がる雲間の青灰色の空間にバデ・バーバの輪郭を見つける時、私たちは彼とまさにサツァングを持っているのです。私たちが、彼の姿に焦点を当てる時——例えば、セピア色の画像をさっと見る中で、背筋を伸ばし、片足をもう片方の太ももの上に乗せた威厳あるアーサナで座っている彼に焦点が当たる時——、私たちは最も確かなつながりの中にいます。私たちが彼の名でアーラティーを歌う時、マーラティー語の詩節の優しさは、私たちが心の周りに築いた最も強固な壁さえ和らげ、私たちの声が自分たちより偉大な何かに融合していくことを、直感的に知ります。そして、私たちが彼の姿についてグルマーイのダーラナーを実践する時、彼のほほ笑みが

私たち自身の心に映し出されていることは、全く驚くべきことではないと分かります。鏡に映るものがあまりに完璧なので、どちらが原因で、どちらが結果なのかを言うことは難しいのです——そして、そうです。私たちは安心できます。私たちは真理と一体なのです。

『Bhagawan Nityananda of Ganeshpuri ガネーシュプリーのバガヴァーン・ニッテャーナンダ』という著書の中で、バーバ・ムクターナンダは、バデ・バーバを愛し崇拝する人すべてにとってバデ・バーバのプンニャティティとは何を意味するかについて、この上ない美しさで書いています。バーバは言います。

「シュリー・グルデーヴは、彼そのままだった。彼はここにいる。彼はこれまでも、そしてこれからも、時の始まりから終わりまで完全であり続ける」

つながり、無限性、無限のつながり —— 2018 年のグルマーイのメッセージに関連するこれらのテーマは、8 月のさまざまな祝日の行事に現れ続けます。

バーバ・ムクターナンダは、彼がバガヴァーン・ニッテャーナンダからシャクティパート・ディークシャーを受け取った直後の、1947 年 8 月 15 日に降った小雨について書いています。これは「吉兆の日々の中でも最高に吉兆の日」だったと、バーバはその自叙伝『プレイ・オブ・コンシャスネス』の中で書いています。

その日、バデ・バーバの恩恵の伝授によって、実に多くの良いことが引き起こされました。それはバーバ自身のサーダナーと達成を促進させ、それと共に、世界中の何世代にもわたる探究者たちのサーダナーをも促進させました。彼自身は何千人もの人々にこの神聖な伝授を与えた、シャクティパート・グルとしてのバーバの名声は、その根源がこの 8 月 15 日の出来事にあ

るのです。さらにそれは、バーバの人生で起きたように、その吉兆さが広く世界でも展開されたような日でした。インド独立への止めることのできない前進がついに実ることで、内側の自由は外側の自由に映し出されたのです。

私は、バーバとバデ・バーバを描写し、バーバのディヴァ・ディークシャーが人類にもたらした純粋に豊かな善というものをとても正確に伝えている『ニャーネーシュワリー』からのこの引用を思い出します。ニャーネーシュワラ・マハーラージは言います。

जयजय वो शुद्धे। उदारे प्रसिद्धे ।

अनवरत आनंदे । वर्षतिये ॥

jayajaya vo śuddhe ludāre prasiddhe ।

anavarata ānande tvarṣatiye ॥

あなたをたたえます、おお、恩恵を授ける力よ。純粋で、その寛大さで名高く、常に喜びという雨を降り注いでいる者よ！

毎年8月には、バーバが『プレイ・オブ・コンシャスネス』の中で詳細に書いている彼のシャクティパートの体験が、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトで特集されます。それは美しい一節で、私たちを引き寄せ続け、読んではまた読み返し、もっと熟考すべきことや心奪われることを発見し続けるように私たちに求めるものです。私にとっておそらくそれは、バーバの偉大さ、バーバの寛大さの表れ以外の何ものでもありません。シャクティパート・ディークシャーは私たちに自らの本質を垣間見せます。これほど生き生きと正確に詳しく彼自身の最も貴重な出来事の体験を私たちに分かち合うことによって、バーバは私たちが切望し、それを目指して努力するゴールについて教えているのです。

バーバの描写の要約を通して、本当の価値を認めることは不可能です —— あなたが、自分自身でその一節を読まなければならないことは確かです。しかし私には、今あなたの注意を引きたい部分があります。

バーバは、「万物に潜む唯一のもの」を知覚することについて、そして内側と外側との違いの消滅について書いています。彼は、内側と彼の周りで渦巻く小さな青色の閃光(せんこう)の塊が、降ってくる小雨に混じり合っているのが見えたと描写しました。それは、多様性の中の一体性、すべてに浸透する大いなる意識 —— つながり —— を表現する信じがたいほどの描写です。そして、それが私たちに伝えていることは、このつながりはこの宇宙の本質そのものであり、この世界が表出する基盤なのだということです。

バーバのディヴァ・ディークシャーについての言葉を読む時、それは自分自身の精神修行に取り組むことへ私たちを鼓舞し、駆り立てます。そして、それは私たちがサーダナー —— それ自体がつながりを継続する行為ですが —— を、いかにつながりが目的であるかというより明確な理解と新たな認識をもって行うよう私たちを導きます。私たちはつながるためにつながっているのです。

月の終わりに近づく 8 月 25 日、月が完全な球体へと姿を変え、私たちはラクシャー・バンダンを祝います。この日、お互いの手首に明るい色の糸の組みひもを巻き付けることで、つながりは特に目に見える形を取ります。インドでは、お互いの愛と保護のしるしとして、姉妹が兄弟の手首にこのラーキーを結びます。シッダ・ヨーガの道では、ラクシャー・バンダンは、探究者同士のつながりばかりでなく、グルと弟子の間の愛と保護の絆を認め、確信する時です。

糸、特にラーキーには、多大な象徴的意味があります。糸は、結び付け、運び、つなぎ、空間の中で、ある地点ともう一つの地点に橋を架けます。そして、その柔らかい糸が、8 月 25 日の月のように、弧を描いて完全な輪となる時、何が起こるでしょうか。そのつながりは終わりがなく

なり、無限に —— 永遠にさえ —— なるのです。それは、グルと私たちの絆を完璧に表すものです。

8月の祝日を祝い、つながりとは何か、それはあなたにとって何を意味するのかをさらに探究していく時、シッダ・ヨーガの道のウェブサイトを見ることをお勧めします。それはあなたにとって、継続的な資料であり助けとなるでしょう。先ほど、バデ・バーバの物語、彼の恩恵とダルシャンについて話しましたが、これらの幾つかが、今月初旬に掲載されます。『プレイ・オブ・コンシャスネス』からのバーバのシャクティパートの体験は、精選された彼の教えと同様、もちろんウェブサイト上で特集されます。また、経験を積み高く評価されたシッダ・ヨーガの生徒やティーチャーが行う、グルマーイのメッセージに関するビデオ講話の第1回もあります。

それだけではありません。8月25日に始まり、9月9日まで、「スウィート・サプライズ(嬉しい驚き)」のサツァングが再びウェブサイト上で聞けるようになります。ぜひ再び —— あるいは、まだ参加したことがなければ初めて —— 参加して、メッセージの講話のグルマーイの教えの実践に専念し直すことをお勧めします。

というのは、それらの教えは雨の日に空を覆う雲を突き抜ける太陽光線のようなからです。雨の中にはきらめきがあります —— このことは、私たちはもう知っていますね。しかしながら、太陽の光についてはこういうことです。それは私たちがその輝きをもう少し見ることを助けてくれるのです。

心を込めて

イーシャ・サーデサイ

